

2026年8月5日

各 位

会 社 名 東 京 イ ン キ 株 式 会 社
 代 表 者 名 代 表 取 締 役 社 長 堀 川 聡
 （コード番号 4635 東証スタンダード市場）
 問 合 せ 先 取 締 役 ・ 常 務 執 行 役 員
 管理部門長、IR 統括 中村 真次
 （TEL. 03-5902-7652）

2027年3月期第2四半期（中間期）及び通期連結業績予想の修正
 並びに配当予想の修正（増配）に関するお知らせ

最近の業績動向を踏まえ2026年5月13日に公表いたしました2027年3月期第2四半期（中間期）（2026年4月1日～2026年9月30日）及び通期（2026年4月1日～2027年3月31日）の連結業績予想並びに配当予想につきまして、下記の通り修正いたしましたのでお知らせします。

記

1. 業績予想の修正について

(1) 2027年3月期第2四半期（中間期）連結業績予想数値の修正（2026年4月1日～2026年9月30日）

	売上高	営業利益	経常利益	親会社株主に帰属 する中間純利益	1株当たり 中間純利益
前回発表予想（A）	百万円 23,800	百万円 600	百万円 700	百万円 800	円 銭 64.02
今回修正予想（B）	26,500	1,300	1,430	1,400	112.05
増減額（B－A）	2,700	700	730	600	
増減率（％）	11.3	116.7	104.3	75.0	
（ご参考）前期第2四半期実績 （2026年3月期第2四半期）	24,336	1,096	1,203	785	61.73

注）2026年1月1日付で普通株式1株につき5株の割合で株式分割を行っております。前連結会計年度の期首に当該株式分割が行われたと仮定して「1株当たり中間純利益」を算定しております。

(2) 2027年3月期通期連結業績予想数値の修正（2026年4月1日～2027年3月31日）

	売上高	営業利益	経常利益	親会社株主に帰属 する当期純利益	1株当たり 当期純利益
前回発表予想（A）	百万円 48,900	百万円 1,800	百万円 1,950	百万円 1,950	円 銭 156.06
今回修正予想（B）	54,300	2,700	2,900	2,650	212.09
増減額（B－A）	5,400	900	950	700	
増減率（％）	11.0	50.0	48.7	35.9	
（ご参考）前期通期実績 （2026年3月期）	49,926	2,217	2,454	1,867	147.44

(3) 修正の理由

第1四半期において、中東情勢の不安定化等を背景とした原油市況の影響を受け、原材料価格の高騰や供給制約、サプライヤー各社の採算是正を目的とした価格改定に対し、当社グループは、最重要課題として収益性の維持・改善に向けた各種施策に取り組むとともに、中期経営計画「TOKYOink 2027」に掲げる施策を推進し、各事業における製品ポートフォリオの最適化や高付加価値製品へのシフトを進めてまいりました。

このような状況のもと、インキ事業では、重要顧客への販売強化および新規顧客獲得に努めた結果、オフセットインキの販売が当初計画を上回って推移いたしました。また、機能性インキ・コート剤およびメディカルパッケージ向け製品を中心としたグラビアインキが好調に推移いたしました。化成品事業では、モビリティ用途向け製品において市況が堅調に推移し、当社シェアの拡大が進展したことに加え、機能性包材用途向け製品など高付加価値製品へのシフトが進み、収益性が改善いたしました。さらに、加工品事業では、土木資材および一軸延伸フィルムを中心として堅調に推移いたしました。これらの結果、売上高および利益は当初計画を上回る水準で推移いたしました。

第2四半期につきましても、インキ事業における機能性インキ・コート剤およびメディカルパッケージ向け製品を中心としたグラビアインキや、化成品事業におけるモビリティ用途向け製品および機能性包材用途向け製品などが引き続き堅調に推移する見込みであることから、当社は第2四半期（中間期）連結業績予想を上方修正いたします。

通期連結業績予想につきましては、足元の中東情勢や原油市況の動向を踏まえ、原材料価格の高騰やサプライヤー各社による価格改定の影響が下期においても継続することを前提としております。また、原材料価格上昇の影響については、下期にかけてより大きく業績に反映されることを見込んでおりますが、第2四半期（中間期）までの業績見通しおよび足元の事業環境を踏まえ、通期連結業績予想を上方修正いたします。

2. 配当予想の修正について

(1) 配当予想の修正

	1株当たり配当金		
	中間	期末	合計
前回発表予想 (2026年5月13日発表)	30円00銭	35円00銭	65円00銭
今回修正予想	50円00銭	45円00銭	95円00銭
(ご参考)前期実績 (2026年3月期)	130円00銭	37円00銭	—

注) 2026年1月1日付で普通株式1株につき5株の割合で株式分割を行っております。前期実績の中間配当金につきましては、当該株式分割前の実際の配当金の額を記載しております。当該株式分割後の基準で換算した場合の中間配当金における1株当たり配当金の額は26円00銭となり、1株当たりの年間配当金の額は63円00銭となります。

(2) 修正の理由

当社は、株主価値を中長期的に高めるために、持続的な成長が必要と考え、「資本効率の向上」、「強固な財務基盤の確保」、「株主還元」の3つのバランスを取ることを資本政策の基本としており、安定的かつ継続的な配当実施を基本方針としております。この基本方針を前提とし、配当性向40%以上またはDOE1.0%以上とする配当方針を策定しております。

2027年3月期の配当予想につきましては、今回の業績予想の修正を踏まえ、株主還元の充実および資本効率の向上を意識した資本政策の一環として、中間配当予想を1株当たり50円（前回予想比20円増配）、期末配当予想を1株当たり45円（前回予想比10円増配）に修正いたします。これにより、年間配当金の額は1株当たり95円（前回予想比30円増配）となります。

(業績等の予想に関する注意事項)

業績予想に関しては、現時点において入手可能な情報に基づき作成したものであり実際の業績は、様々な要因によって予想数値と異なる場合があります。

以 上